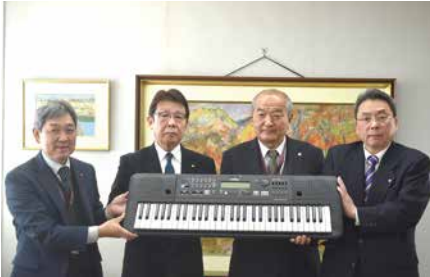


令和5年度社会貢献活動

令和5年度の社会貢献活動の贈呈式がそれぞれ行われ、藤沢市には「LED交通安全教室用信号機」、茅ヶ崎市には「ルールを知らずにボクたちは・・・」(小冊子)、寒川町教育委員会には「ハーモニーディレクター」を贈呈しました。



令和6年 2月26日📅
 寒川町教育委員会に寄贈(寒川町役場)



令和6年 4月17日📅
 藤沢市に寄贈(藤沢市役所)



令和6年 4月30日📅
 茅ヶ崎市に寄贈(茅ヶ崎市役所)

医療百話

湘南藤沢徳洲会病院
 肝胆膵・消化器病センター 部長
 藤川 智章

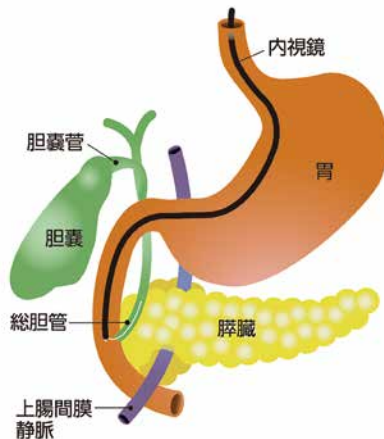


「胆石症とは?」

肝臓でつくられた消化液である胆汁が流れる通り道を「胆道」といい、「胆管(肝内胆管、総胆管)」「胆嚢」の総称です。胆汁は肝臓で生成され、胆管を通して、いったん胆嚢にたまり濃縮されます。

食事をする時、胆嚢から胆管を通して十二指腸に流出します。胆道に石ができてしまう病気の総称を「胆石症」といいます。石ができた場所によって「胆嚢結石」「総胆管結石」と呼びます。本来、黄色透明でさらさらした液体である胆汁が、何らかの原因でよどみ、泥状に変化し固まって結石になります。

原因として、高カロリー食、動物性脂肪の過剰摂取、高脂血症、ホルモン補充療法、経口避妊薬の長期服用、妊娠、長時間の絶食、急激な体重減少、ダイエット、腸管運動機能の低下、肥満、胆道感染、溶血性貧血、肝硬変、クローン病、消化管手術、完全静脈栄養などが指摘されています。患者数の正確な調査はされていませんが肥満人口の増加に伴い増加していると推測されています。



■症状

症状がない方もいらっしゃいますが、胆石により腹痛や発熱、嘔気、嘔吐、黄疸など様々な症状が生じます。

■治療

症状のある胆嚢結石は手術(胆嚢摘出術)で治療します。当院でも年間150人ほどの方々が治療されています。総胆管結石は内視鏡的膵胆管造影(ERCP:Endoscopic Retrograde Cholangio Pancreatography)を行い摘出します。当科でも年間200~300件近くの総胆管結石をERCPで摘出しています。総胆管結石の中には結石が総胆管内に多数存在し、通常の内視鏡では摘出が困難なケースもあります。そのような場合はERCP下において、胆管に細い内視鏡(経口胆道鏡)を直接挿入し電気水圧衝撃波で結石を粉砕することも可能です。

患者さんの中には、過去に胃の病変を切除する手術を行い、胃と十二指腸を複雑につなぎなおした場合など、通常の内視鏡では胆管に届かないこともあります。そのようなときはダブルバルーン内視鏡という小腸を観察する長い内視鏡を用いてERCPをおこないます。

ご本人の意思、意欲が優先されますが、医療材料や技術の進歩により手術可能年齢も高齢化してきました。ご相談いただければ、当センターはスタッフ一同、患者さんの年齢や体力に応じた医療を心掛けて対応させていただきます。

